

オバマ大統領、科学・技術・工学・数学（STEM）分野学生増加のためのイニシアティブ発表（2月7日）

大統領府において2月7日、第2回大統領府科学フェア（White House Science Fair）が開催された。このフェアでは、全国30チームを代表する学生100人以上が参加し、それぞれによる研究内容や発明の紹介が行われ、オバマ大統領もこれに参加し、児童との交流を行った。同時に大統領は、科学・技術・工学・数学（STEM）分野の学生数増員に向けた新たなイニシアティブを発表しており、これには、①2013年度大統領予算教書において、学部STEM教育改革を優先課題とし国立科学財団（National Science Foundation: NSF）に対して1億ドル拠出、②教育省（Department of Education）とNSFによる16歳までの数学教育改革、③STEM分野の魅力向上のための官民政策、④優れたSTEM教育者に対する支援政策、⑤教育者教育のための慈善団体・民間セクターによる2,200万ドル投資が含まれている。

なお、発表されたイニシアティブの詳細については

<<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2012/02/06/president-obama-host-white-house-science-fair-0>>参照。

The White House Blog, *President Obama Hosts the White House Science Fair*

<http://www.whitehouse.gov/blog/2012/02/07/president-obama-hosts-white-house-science-fair>